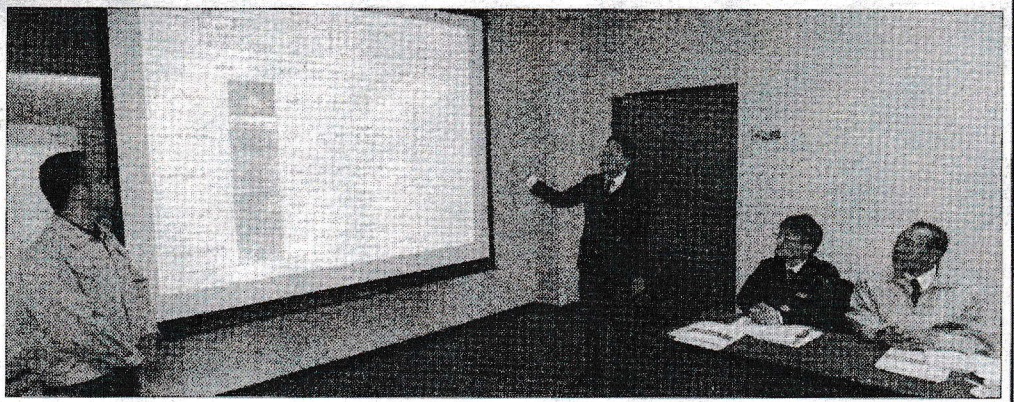




「危険源調査」確認で企業訪問

出しを目的にしている。

呼応した西尾協会は自主活動として加入事業所の理解を得て、来年度の危険源確認作業を前倒ししてスタート。安全相互確認会として企業訪問したのは二ノミヤ、イナテック、キラ・コーポレーション、榊原工業、碧海工機、アイチセラテック、岩瀬鉄工、キンテック、ミワテックの9社。

製造部品製造の二ノミヤ（横手町、二宮英樹社長）の確認会では、溶解工場エリア内の危険源を「はさまれ」と「重量物」「熱」「墜落」「電気」に分けた各洗い出しシートを使い、想定される災害や人体への危害程度などを記号化や数値化した調査結果の説明があった。西尾協会の榊原会長らとの意見交換も行われた。

労基署西尾支署の木下竜也長は、危険源を分かりやすく洗い出したシートの活用による危険源の確認を通して「今後の対応、対策への初めの一步。これからも災害の未然防止に努めてください」と呼びかけた。

【写真は二ノミヤでの安全相互確認会。二宮社長（中央）から説明を受ける労基署西尾支署の木下支署長、西尾協会の榊原会長】

西尾市内の無事故無災害に向けて「安全・健康に働けるにお運動」を展開する西尾労働基準協会（榊原利夫会長）は6日、岡崎労基署西尾支署（木下竜也支署長）と連携し、各事業所で取り組み始めた危険源調査について確認する訪問活動を行った。

愛知労働局は今年から3